

報道関係各位

2026年6月22日  
一般社団法人 広島県木材組合連合会

**広島発・未来の木製建材を創出する学生アイデアコンペ始動**  
**第1回 木材活用アイデアコンペ「TO-KI Timber Shift Award」開催--テーマは「水と木」**  
**7月18日(土)、第一線で活躍するクリエイター陣が登壇するトークイベントを開催**

広島県木材組合連合会(会長:竹内徳将)は、総会50回記念事業として発足した、ひろしま木材研究会「TO-KI」による新たなプロジェクトとして、学生を対象とした木材活用アイデアコンペ「TO-KI Timber Shift Award」を開催します。

「TO-KI」は「〇〇と木」と「時(とき)」という二つの語感を重ねた名称です。過去から受け継がれてきた木材加工技術と、新しい発想の組み合わせで、木が使われてこなかった領域を切りひらいていきます。

本コンペは単なるアイデア募集にとどまらず、グランプリ受賞作品を実際に制作・プロトタイプ化し、地元の木材会員企業とのマッチングを通じて製品化・採用を検討するという、地域産業の活性化を見据えた取り組みです。

毎年「〇〇と木」という形式でテーマを設定し、木材活用の可能性を一つひとつ広げていきます。

**■なぜ今、「水と木」なのか？ コンペティション開催の背景**

初回テーマは「水と木」。これまで木材と水は、腐食や変形などの観点から「本来は相容れないもの」として捉えられてきました。しかし、本コンペティションではその常識をあえて覆します。「水を止める、水を含む、水とともに変化する―」過去から受け継がれてきた木材加工技術と、学生ならではの新しい発想を組み合わせ、「水の領域」に木材が存在できる可能性を探る。住宅の外装や水まわりといった建築建材の提案から、これまでにない全く新しいプロダクトまで、気体(湿気・蒸気)から液体・固体(雪・氷)に至る広い「水」の解釈を交えた斬新なアイデアを募集します。

**■7月18日(土) 第一線で活躍する審査員によるトークイベントを開催**

コンペティションの募集開始に合わせ、テーマである「水と木」をさらに深掘りし、デザインや建築技術の視点から木材の可能性について、審査員3名が語るトークイベントを開催。

「なぜ今、木材なのか」「木材加工技術はどこまで進化できるのか」「学生に期待する発想とは何か」などをテーマに、コンペの背景や木材産業の未来について語ります。木材産業の新たな挑戦を発信する場として、ぜひご取材ください。

**【TO-KI Timber Shift Award 概要】**

テーマ:「水と木」

募集対象:大学・大学院・短期大学・専門学校・工業系高校等に在籍する学生(個人・チームいずれも可/国籍不問)

募集期間:2026年6月30日～8月31日

賞金:グランプリ 15万円(1点)・準グランプリ 5万円(2点)・奨励賞(若干名)

グランプリおよび準グランプリ受賞者は、広島県木連会会員企業とのマッチングのもと、実際の試作・制作プロセスに参加。2027年5月の広島県木材組合連合会 総会にて発表・展示されます。

特設Webサイト:<https://to-ki-award.mokuren.org/>

**スケジュール**

2026年6月30日(火)	応募要項公開・応募受付開始
2026年7月18日(土)17:00～	トークイベント開催(審査員登壇・広島市内)
2026年8月31日(月)	応募締切
2026年9月上旬	一次審査(書類審査)・結果通知
2026年10月10日(土)14:00～	二次審査・公開発表会(シャレオ 広島)
2026年10月末～	受賞作品の試作・制作調整開始
2027年4月末	プロトタイプ完成
2027年5月	広島県木材組合連合会 総会にて発表・展示

※スケジュールは変更になる場合がございます。詳細はWebサイトにて随時更新いたします。



TO-KI  
Timber  
Shift  
Award

第1回 木材活用アイデアコンペ

テーマ  
「水と木」

木の領域がシフトする。  
「木製」の概念が変わる。

水と木は、本来相容れないように思われてきました。でも水を含み、水とともに変化する―。木が水と共存できる可能性を探る。住宅の外装や水まわりといった建築建材の提案から、これまでにない全く新しいプロダクトまで、気体(湿気・蒸気)から液体・固体(雪・氷)に至る広い「水」の解釈を交えた斬新なアイデアを募集します。

作品募集

募集期間 2026.6.30.tue - 8.31.mon

応募資格 対象:大学・大学院・短期大学・専門学校・工業系高校等に在籍する学生(個人・チームいずれも可/国籍不問)

賞金 1位:15万円(1点) 2位:5万円(2点) 奨励賞:若干名

特設Webサイト: <https://to-ki-award.mokuren.org/>

主催 広島県木材組合連合会

協賛 広島県木材組合連合会 会員企業

お問い合わせ 広島県木材組合連合会 総務課 082-822-1111

【審査員】



審査委員長  
竹内 徳将  
広島県木材組合連合会 会長

1955年広島県生まれ。1978年広島修道大学卒業。オーストラリアU.N.S.Wへの語学留学後、1979年キリン木材株式会社に入社。取締役、常務取締役、取締役副社長を経て、1994年から代表取締役社長。製函業、住宅向け製材主体の会社に、いち早くプレカットラインを導入。近年は、公共建築物等の非住宅分野への木造・木質化にも貢献。また、2002年から社団法人広島県木材組合連合会（※）の監事、2013年から副会長を務めた後、2022年から会長に就任し広島県の木材業界を牽引。他にも、広島県木材協同組合連合会、一般社団法人広島植物検疫協会、広島木造軸組プレカット公協会など関係団体の役員を歴任。  
※2013年から一般社団法人広島県木材組合連合会



大治 将典  
プロダクトデザイナー  
Oji & Design 代表

日本各地の地域産業に伴走し、プロダクトからブランドまで一貫してデザインする。地域の素材・状況・記憶の力を活かし、現代へ創り継ぐ「継創（けいそう）」を掲げ、製品・体験・流通・コミュニケーションを統合的に設計。「ててて協働組合」共同創業者・現相談役。手がけた器と道具を実際の食卓環境で試せる体験室「OJI & DESIGN FEEL」開設。（広島市 | 2025.11）富山県井波の町宿 Bed and Craft 「OKUA」アートディレクション。（富山県南砺市井波 | 2026.4）2005-2023 高岡クラフトコンペティション審査員。2024- 中川政七商店主催「地産地匠アワード」審査員。2016- SICF（スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル）MARKET部門審査員。



杉田 宗  
建築家・広島工業大学環境学部  
建築デザイン学科教授

1979年広島県生まれ。2004年パーソンズ美術大学卒業。Rogers Marvel Architects（2025～2026, New York）、MAD（2006～2007, 北京）に勤務した後、2010年ペンシルバニア大学大学院建築学科修士課程を修了。2010年より、杉田三郎建築設計事務所。2012～2014年 東京大学Global30 国際都市建築デザインコースアシスタント。2018年 広島大学大学院博士課程後期終了。博士（工学）。現在 広島工業大学環境学部建築デザイン学科教授。専門は建築分野におけるコンピュータショナルデザインやデジタルファブリケーション。『HIROSHIMA DESIGN LAB』や『ヒロシマBIMゼミ』など、広島を拠点に教育・研究・実務を横断的に繋げる活動を展開している。主なプロジェクトはgathering（2010）、かも保育園ハッチェリー（2019）、山根木材福山支社（2021）など。建築情報学会副会長。



中山 慎介  
グラフィックデザイナー  
LINER NOTES 代表

LINER NOTES 代表。広島県公立大学法人 観啓大学非常勤講師。ロゴ、ポスター、パンフレット、商品パッケージといったグラフィックデザイン全般を手がける。「身近なデザインによって、社会をより良くする」ことを目標に、顧客の思いを表現したデザインづくりに取り組む。グッドデザイン賞、広島ADCグランプリ、DNA PARIS DESIGN AWARDS（FRA）、C2A Creative Communication Award（USA）、LICC - London International Creative Competitions（NY）、Taipei Design Award（TWN）、Taiwan International Graphic Design Award（TWN）、iF DESIGN AWARD（DE）など受賞。

トークイベント概要

日時	2026年7月18日（土）17:00～
会場	AT THE TABLE（広島市中区本川町1-1-22 デルタビル301）
主催	ひろしま木材研究会「TO-KI」
登壇者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大治 将典氏（プロダクトデザイナー／Oji &amp; Design代表）</li> <li>・ 杉田 宗氏（建築家／広島工業大学 環境学部 建築デザイン学科 教授）</li> <li>・ 中山 慎介氏（グラフィックデザイナー／LINER NOTES代表）</li> </ul>

ひろしま木材研究会「TO-KI」では、本コンペを単発のイベントではなく、毎年テーマを変えながら継続開催する予定です。「〇〇と木」というテーマ設定を通じて、木材加工技術の新たな可能性を探り、若い世代の発想と地域企業の技術力を結びつけることで、広島から次世代の木材産業を創出していきます。メディア関係者の皆様におかれましては、ぜひご取材をご検討いただけますようお願い申し上げます。

【取材のお申し込み・お問い合わせ】（一社）広島県木材組合連合会・ひろしま木材研究会「TO-KI」

担当：寺田 TEL：082-253-1433 MAIL：kenmoku@minos.ocn.ne.jp